

令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ17

新産業による市内への波及効果の測定（袋井市）

1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市では、市内にあるエコパ周辺におけるスポーツイベントやアーティストのライブなどを目指した、交流人口の増加は成功を収めている。
- ・一方で、エコパ周辺以外の市内を周遊することが少ない、産業関連での活性化が進んでいないという課題がある。
- ・そのような中、eスポーツや3Dプリンターによるものづくりなどに代表される新しい産業（技術）が、川下の個人まで普及し始めている。
- ・産業を育成する観点から、川下の個人への認知度向上や消費を加速させるため市民向けイベントの開催を検討しているが、イベントを開催することでどれくらいの交流人口の増加や、産業育成へ効果が見込まれるかが現状不透明のため、支援の方策がつかめないことが課題である。

2. 実現したい目標について

- ・新産業を起点とした交流人口の増加
- ・新しい産業が起点となるイベントの集客力や市内への波及効果などを測定することで、支援策の立案につなげたい。

3. 必要とする技術について

- ・交流人口の測定
- ・市内回遊ルートの把握

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

時期は、大型連休など、子連れなども参加できる時期が望ましい。

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・提案サービス等の導入検証

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・静岡新聞「袋井初eスポーツフェス 18、19日、プロが対戦「気軽に見に来て」」

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/999834.html>